武雄市立西川登小学校　『校訓』 ただしく・やさしく・たくましく

学校だより 西っ子

15号　令和8年９月14日
文責：校長　大宅　恒文

人とのかかわりを大切にしながら　よく遊びよく学ぶ子　～みんなで広げよう　西っ子の「わ」～

ただしく　やさしく　たくましく
人との関わりを大切にしながら
よく遊び　よく学ぶ子

災害から町や命を守ろう～田んぼダム出前講座・防災教室～







最近、日本各地で地震や浸水被害のニュースが頻繁に報じられています。私たちの住む武雄市も過去に大きな浸水被害の経験があり、いざという時に備えて、より防災の意識を高める必要があります。

４．５年生は、佐賀県農地・水多面的機能推進協議会、武雄市治水対策課から講師をお招きして、「治水田んぼダム出前講座」を受けました。「田んぼダム」とは、大雨時に河川の下流域の地域の浸水被害を軽減させるための取組です。上流域の田んぼの排水口にせき板(V 字になった調節板)を設置して雨水を一時的に田んぼに貯留することにより排水路への洪水負荷を減らし浸水被害の軽減につなげます。今回は、その様子を、実際のモデルを見ながら比較できたため、田んぼダムの取組効果を実感できました。



また、４年生は、消防署の方をお招きして防災教室を行いました。大雨時の動画を見て危険性を理解したり大雨時に気を付けることなどの話を聞いたりして、災害から身を守る方法を知ることができたようです。

税金の使われ方を知ろう～租税教室～



社会科で公民分野を学習した６年生が県税事務所の方をお招きして、税の種類や仕組みについて学びました。

約 50 種類も税金の種類があることや、小学生１人に対して約 100 万円以上もの金額(1 年間に換算)が使われていること、公共事業が税で賄われていることなどを説明していただき、私たちが納めている税金の活用について理解を深めました。最後に１億円のお金のレプリカを持たせてもらって、その重さや量に驚きを感じた子どもたちでした。

外部から指導に来ていただいた方々は、西川登小学校の子どもたちの話の聞き方、質問されたことへの反応、質問の多さ、日ごろの学習で学んだことへの理解の高さ等について、とても驚かれていました。また、学ぶことへの意欲が高くて、すごく話がしやすかったとの感想もいただきました。とても素敵な子どもたちです。

いざというときに備えて～防火器具点検～





今年６月に発生しました東京都の小学校火災の事案を受け、学校内の避難経路や避難器具等の確認を８月末に行いました。垂直避難袋や消火栓の活用の仕方、防火シャッターの稼働点検等を業者立会いのもと、実際に体験を通して研修しています。これらの防火器具は火災時に使用するものですので本来は使用しない方が望ましい器具ですが、もしもに備えて活用の仕方を知っておくことは重要です。また、いろいろな状況を想定して、避難訓練を実施することも必要になります。今後も、子どもたちの安全・安心の確保のために、施設の点検や防災教育への取組も適切に行っていきたいと思います。

ご寄附ありがとうございます

西川登中学校第８回卒業生会の皆様より「子どもたちへの教育活動に使ってください」と金一封(22,562 円)をご寄附いただきました。今回は、図書購入に活用させていただこうと思っています。誠にありがとうございました。

反射板をご活用ください!!



武雄警察署より反射板(キーホルダー)を１人に３種類ずついただきました。これからの季節は日没が早くなりますので、身につけておくと、自動車に歩行者の存在を知らせることができ大変有効です。届けていただいた駐在所の中島巡査部長様からは、おじいちゃんやおばあちゃん達、ご家族で使っていただいてもいいとのことですので、有効にご活用ください。本日、子どもたちに配布しております。武雄警察署様　ありがとうございました。